

峡北地区最終処分場整備検討委員会議事録

日 時：平成17年7月15日（金） 午後4時～6時15分

場 所：北巨摩合同庁舎1階 101会議室

出席者： 委員

葦崎市長	小野修一（会長・議長）
北杜市長	白倉政司
小淵沢町長	中山賢一
葦崎市委員	藤森儀文
北杜市委員	篠原眞清
北杜市委員	福田 紘
小淵沢町委員	茅野光一郎
小淵沢町委員	伊藤 武
山梨県森林環境部環境整備課長	小林 明
峡北地域振興局企画振興部長	石川泰平
峡北地域振興局林務環境部長	前山堅二
山梨県環境整備事業団事務局長	石山利男

専門家

山梨大学名誉教授	中村文雄
山梨大学教授	金子栄廣

県

森林環境部長	今村 修
森林環境部次長	秋山貴司
峡北地域振興局長	新藤 満
峡北地域振興局林務環境部次長	廣島正憲（司会）

環境整備事業団

副理事長	花野 孝
専務理事	広瀬正文

傍聴人

83名（北杜市議員17名、明野町住民59名、その他6名）

資 料： 概況調査報告書、概況調査結果の整理及び評価
公共関与による管理型廃棄物最終処分場の状況
明野廃棄物最終処分場差止仮処分命令申立事件決定の概要

< 司会 >

只今から、峡北地区最終処分場整備検討委員会を開会します。

本日は、前回に引き続き、2人の先生方をお招きしておりますので紹介します。山梨大学名誉教授の中村先生、山梨大学工学部教授の金子先生です。また、本日の議題にもあるとおり、概況調査を受託したコンサルタントにも出席頂いております。

< 会長あいさつ >

先日、明野処分場の取り組み状況について、2回にわたり、県が地元説明会を開催し、地元の方々から意見や要望が出されたとの報道がありました。

県では、これまで、明野処分場の問題解決に向け、積極的な取り組みを行ってきたと承知しておりますが、地域の方々のご理解、ご協力を得ることが何よりも重要です。これからも積極的に対応がなされ、この進行に努めてもらいたい。

こうしたことを踏まえると、当委員会の果たす役割も益々重要となっております。委員の皆様方のご協力をいただきながら、前回の検討委員会では、旧明野村内における適地調査により、3箇所の適地候補地が抽出され、概況調査等の実施が了承されました。

本日は、3箇所の適地候補地の概況調査結果について報告を受け、理解を深めて頂くほか、処分場の安全性について、各県の状況も踏まえ、説明することとしておりますので、よろしく申し上げます。

< 森林環境部長あいさつ >

先週、県、事業団では、これまでの検討委員会での開催状況等、明野処分場の取り組み状況について理解を深めて頂くために、明野町の各区長や北杜市の地域委員会委員の皆様方に、地元説明会を行ったところであります。

説明会では、これまでの明野処分場の取り組み経緯や現在進められている適地調査などに対し、地元の皆様方ご意見も頂戴したところです。

明野処分場の整備については、地元の皆様方のご理解、ご協力は何よりも大切です。今後も、機会あるごとに説明会を開催するなど、積極的に取り組んで参りたいと考えています。

委員の皆様には、明野処分場の問題解決に向け、更なるご協力をお願いしたい。

本日は、専門のコンサルタントに委託して進めてきた、3箇所の適地候補地の概況調査結果を基に、内容について十分に協議して頂く中、ご理解を深めて頂くとともに、処分場の安全性等についても、説明させていただきたいと考えています。

< 議長 >

まず、本日は、3箇所の適地候補地の概況調査の報告です。

概況調査の説明に時間がかかるとおられますので、今回は、その状況について理解を深めていただくということで申し上げます。

議題（１）
適地調査に係る概況調査結果等について

【説明】

（石山局長）

５月３０日～３１日に、３箇所の適地候補地について、地形等の状況、水道水源や集落等の位置関係、道路アクセス等について現地確認を実施したことを報告

（コンサルタント）・・・約１時間にわたり詳細に説明

３箇所の適地候補地の概況調査結果の内容を説明

- ・調査方法としては、文献資料に基づき現地踏査をしたこと。
- ・調査項目としては、法規制、土地利用、水象、生態系、地質状況、施設の概要や機能性、地盤の安定性、施工性、経済性など

<議長>

説明が終わりましたので質問・意見を伺う。

<委員>

前回の委員会では、３箇所の適地候補地から１箇所に適地を絞り込んで、浅尾の現計画地と比較するとのことであった。

しかし、この調査結果を踏まえると、絞り込みも難しい面がある。３箇所の適地候補地と浅尾の現計画地の４箇所を一緒に比較したらどうか。

<委員>

関連で聞きたい。調査結果では、各項目ごとに評価はされているが、どこに重点を置くかによって、絞り込みも大変である。

本日の「その他」の議題の中に、浅尾の現計画地の補足的概況調査とあるが、これはいつまでに、どういう調査をするのか。

<小林環境整備課長>

後ほど「その他」のところで説明する予定だったが、最終的には、浅尾の現計画地と比較することになるので、現計画地の概況調査の補足を行いたいと考えている。

現計画地については、既に平成６年に概況調査をしているが、最終的な比較をする場合に、今回の３箇所の概況調査と同じレベルで比較できるような補足的な調査が必要である。

その調査が８月の初め頃までかかるため、それ以降であれば、今回の調査と比較できる形で結果を出すことができる。

<議長>

浅尾の現計画地も同じ尺度で、同じレベルで、３候補地と併せて検討していくことではどうか。

< 小林環境整備課長 >

「4箇所を一緒に比較した方がいい」という検討委員会の決定であれば、補足的な概況調査が終了した後であれば、そういう資料で対応できる。

< 委員 >

補足調査結果が出るのであれば、同じレベルで4箇所を比較検討するのがいいのではないか。

< 議長 >

それでは、浅尾も同じレベルにして、4箇所と比較検討していくことでよろしいか。

< 委員 >

私は反対だ。10月28日の申し合わせの中の明野村の意向とは、浅尾の現計画地はノーであるということだ。これは明野村の総意だ。

検討委員会として、浅尾以外の明野の中で新たな適地を探し、この問題を解決していくことで進んできているものと理解している。

そういう意味合いからすれば、3箇所候補地の中で適地を選んでいくことが、この検討委員会の趣旨にのっとった進め方だと理解している。

4箇所を一緒に比較していく意見には反対だ。

< 委員 >

それはおかしい。前回(5月25日)私が質問し、3箇所の適地候補地を絞って、浅尾の現計画地と比較することで決まったではないか。

今日の会議になって、浅尾の現計画地はノーという話は聞けない。

決めたことは決めたことで前に進んでいかなければ。前に決めたことが今日はノーだなんて話は全く聞けない。篠原さんの言っていることは全く理解できない。

< 委員 >

前回の委員会で、3箇所を絞って、浅尾の現計画地と比較していくことで良いかと、議長が諮ったわけでもない。県が、質問に対して答弁しただけではないか。

< 委員 >

それは、篠原さんの個人的な見解ではないか。誰もそんな理解はしていない。前回の委員会で皆で確認したはずだ。

< 森林環境部長 >

10月28日の決定事項は、既に許可になっている浅尾の現計画地の他に適地があればということで調査を進めてきていると理解している。

現時点で、それは違っているとの話が出てくることはおかしい。

< 議長 >

10月28日の決定事項は、平成6年から検討されている浅尾地区の処分場について、委員会としては、地元の理解を得て、一日も早く処分

場の設置を切望するとのことであった。しかし、他に適地があるのであれば、それも可なりということで申し合わせをした。

篠原委員とも打ち合わせをし、それを文書にしたものを委員会の中で朗読して全員の了解を得た。

浅尾の建設予定地を、「無しにしましょう」という話はなかったと認識している。

< 委員 >

明野の意向は、既に許可が下りている浅尾はダメということ。

10月28日の委員会でも、はっきり言った。それ以外のところでの適地調査の受け入れの条件（安全性の確保、選定経過など）まで話している。

< 議長 >

浅尾は絶対だめだという話だけれども、それはない。委員会としてもそんな認識はない。

< 委員 >

議長さんや委員さん方がどう受け止められようとも、明野の意向はダメということで話をさせてもらっている。

< 議長 >

これでは話が進まない。

（他の委員の意見も聞いたらどうかとの意見）

< 議長 >

皆さんに意見をお聞きするが、3箇所と現計画地の4箇所の候補地から適地を選んでいくことでよろしいか。

（異議無しの声）

そういうことで決定いたします。事務局もよろしいか。

< 環境整備課長 >

委員会としての決定ということで、4箇所での比較資料を次回の委員会に提出させていただく。

< 委員 >

調査の中で重要な項目は、水象、地質状況、地盤の安定性だと思う。

こういう認識にたって考えるとすれば、この3候補地の中で、どこが一番リスクが少なく、安全性が高いのか。コンサルタントに聞きたい。

< コンサルタント >

今回の調査では、項目ごとの評価はするが、総合的な評価はしないことにしている。

< 委員 >

総合的な評価をしないのならば、金をかけて何のために調査しているのか。

< 環境整備課長 >

この調査は県が発注したものでコンサルを攻めてはかわいそう。コンサルには委員会が判断できるような客観的なデータを求めたもの。

県としては、総合的な評価をコンサルに出してもらうのではなくて、各項目の中でどの項目を重視していくかなど、委員会の中でそういう議論をして、総合的な評価をしてもらいたいと考えている。

< 委員 >

処分場を整備する際に、客観的判断として重要なのは地質と考えている。地質の専門家の意見も聞く中で、判断していきたい。

< 議長 >

それでは、浅尾の現計画地も含め、4箇所の中で客観的に精査できるような方向で検討を重ねていくこととする。

議題(2)

その他

< 環境整備課長 >

その他ということですが、時間がないので処分場の安全性については、次回に説明させていただく。

また、7月26日に、夜7時30分から明野町の総合会館で、住民説明会を開催するのでお知らせします。

以上